

第3節 サービス基盤整備の方針

1. 第8期計画までの整備状況

要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしく生活することができる『地域包括ケアシステム』を推進することを目的に、本市では、介護保険サービスを利用することで可能な限り在宅で生活できるよう支援を行ってきました。第8期計画期間(令和3～5年)では、北エリアに新たな介護予防拠点を開設し、これまで市が主導して計画的に整備した市内の介護サービス及び介護予防拠点等は全 41 事業所となっています。

図表 5-6 市が主導で整備したエリア毎の事業所数

サービス種類	事業所数(定員)		
	北エリア	中央エリア	南エリア
地域包括支援センター	2	2	1
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	1	—	—
	(60 名)	—	—
介護老人保健施設	1	—	—
	(99 名)	—	—
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	3	2
認知症対応型通所介護	1	—	—
小規模多機能型居宅介護	2	1	1
	(48 名)	(25 名)	(29 名)
看護小規模多機能型居宅介護	1	—	—
	(29 名)	—	—
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	3	3	2
	(36 名)	(45 名)	(27 名)
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	1	—
	(29 名)	(29 名)	—
高齢者福祉センター	1	—	1
介護予防拠点	1	2	2
サービス付き高齢者向け住宅	1	1	1
	(29 名)	(人数指定なし)	(29 名)
地域医療支援センター	—	1	—

※令和 5 (2023) 年 12 月時点データ

図表 5-7 市が主導で整備した日常生活圏域別のサービス及び介護拠点一覧

サービス種類・サービス内容		定員	所在地
北エリア	北地域包括支援センター	—	新倉2丁目
	北第二地域包括支援センター	—	下新倉5丁目
	(新倉) 高齢者福祉センター	—	新倉1丁目
	(併設) 小規模多機能型居宅介護	20名	
	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	60名	新倉8丁目
	介護老人保健施設	99名	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	29名	
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	9名	下新倉3丁目
	(併設) 小規模多機能型居宅介護	29名	
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	9名	下新倉5丁目
	(併設) 認知症対応型通所介護	12名	
	サービス付き高齢者向け住宅	29名	新倉2丁目
	(併設) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	—	
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	18名	下新倉4丁目
	(併設) 看護小規模多機能型居宅介護	29名	
中央エリア	中央地域包括支援センター	—	本町
	中央第2地域包括支援センター	—	丸山台2丁目
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	27名	中央2丁目
	サービス付き高齢者向け住宅	—	丸山台2丁目
	地域密着型特定施設入居者生活介護	29名	
	(併設) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	—	
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	9名	広沢
	(併設) 小規模多機能型居宅介護	25名	
	介護予防・地域交流拠点 (本町小学校福祉交流室)	—	本町
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	9名	丸山台2丁目
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	—	西大和団地
	介護予防拠点・地域交流拠点 (まちかど健康相談室)	—	西大和団地
	介護予防拠点 (まちかど健康広場)	—	本町
	地域医療支援センター (認知症デイケア、精神科ケア)	—	本町
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	—	本町
南エリア	介護予防拠点 (まちかど健康空間)	—	丸山台1丁目
	和光市南地域包括支援センター	—	南1丁目
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	9名	諏訪
	(併設) 小規模多機能型居宅介護	29名	
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	18名	南1丁目
	高齢者福祉センター	—	南1丁目
	サービス付き高齢者向け住宅	29名	白子1丁目
	(併設) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	—	
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	—	南1丁目
	介護予防拠点 (まちかどピテクス和光)	—	南1丁目
	介護予防拠点 (まちかど元気あっぱ)	—	南1丁目